

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：商業費 目：商業振興費
担当課	ひろしまブランド推進課
事業名	広島ブランドショップ運営事業（単県）

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	68 「ひろしま」ブランドの価値向上を推進します。
	① ひろしまのブランド価値の向上

目的

飲食、物販、情報発信機能を通じて、広島の本物の魅力を、首都圏はもとより全国に向けて売り出していくことにより、広島ファンの拡大と広島の地域ブランドの価値向上を図る拠点「ひろしまブランドショップTAU」の運営を行う。また、県産品等の発掘から販路開拓まで一貫した支援を行い、ブランド価値向上を図る。

事業説明

対象者

首都圏：情報に関する感度が高く発信力のある大人の女性を中心とした20～50代の幅広い層の消費者、メディア、卸売小売バイヤー、飲食店関係者

県内：首都圏に販路開拓を志向する県内中小企業者、農林水産物生産者等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	当初予算額	最終予算額	予算執行額
店舗運営事業	〇 施設管理・運営 ・賃料、共益費 ・光熱水費、通信費等 ・契約更新に係る保証金、事務経費等	(債務 825,403) 416,455	408,355	406,173
	ブランド価値向上 ・情報発信 〇 3F イベントスペース等を活用したイベントの展開 ・広島ファンの増加イベント ・県産品・地域資源PRイベント ・記者発表等の運営 〇 HPやFacebook等を活用した情報発信(保守管理)	29,454	29,454	23,037
販路開拓支援	〇 県産品販路開拓支援 ・セミナーによる課題認識・意識啓発、商品改良に向けた個別相談 ・バイヤーへの商品提案、ビジネスマッチングの実施	9,161	9,161	8,976
合計		(債務 825,403) 455,070	446,970	438,186

成果目標

- 中長期の目標：売上高 前年度の実績を上回る額
「地域ブランドランキング」（日経リサーチ） 全国8位（H32）
- H28年度の目標：売上高 H27年度の実績を上回る額
県産品等の報道件数 1,000件以上
販売チャネルの拡大件数 100件以上

平成28年度実績

指 標 名	目標値 (H28年度)	実績値 (H28年度)
売上高	H27年度の実績(8.9億円)を上回る額	売上9.6億円
県産品等の報道件数	1,000件以上	1,982件
販売チャネルの拡大件数	100件以上	88件

今後の課題

- TAUにおいて、魅力ある商品提供やひろしまブランド価値向上に資する情報発信を強化し、店舗自体や広島に対する認知度及び評価を更に高める必要がある。
- TAUを活用した県産品の販路拡大に向けた取組を更に積極的に展開する必要がある。

今後の取組方針

- 4月の店舗リニューアルを契機に、店舗機能及び情報発信機能を強化したことから、更にひろしまブランドに関する情報発信等を積極的に行う。
- 首都圏での販路開拓に向けて、バイヤーへの商品提案や商談会等を実施するとともに、県内事業者に向けた個別相談を行う。
- TAUの商圈・客層以外の消費者へのPRや販路先の開拓に資する外販活動を積極的に行う。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：商業費 目：商業振興費 款：商工費 項：商業費 目：貿易振興費 款：総務費 項：企画費 目：企画総務費
担当課	ひろしまブランド推進課，海外ビジネス課
事業名	ひろしまブランド推進事業（一部国庫）【一部新規】

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	68 「ひろしま」ブランドの価値向上を推進します。 ① ひろしまのブランド価値の向上

目的

ひろしまブランドの国内外での認知・評価を高め、魅力ある地域として「選ばれる」ようになることにより、持続的な「地域経済の活性化」につなげ、「地域に対する愛着・誇り」を高めるため、ひろしまブランド構築に向けた県民の共通理解・機運醸成を図り、自発的な活動の拡大を目指す。

事業説明

対象者

市町，事業者，県民及び県外者，「ひろしま」ファン等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	当初予算額	最終 予算額	予算 執行額
食の魅力向上	○ 人材発掘，育成 ・西洋料理コンクール実施，成績優秀者への海外修業資金の支援 ・和食料理コンクール実施 ○ 食材の活用，食育の推進 ・小中学校を対象とした出前講座を実施等	(債務 14,400) 16,664	16,664	10,868
日本酒のブランド価値向上 (対象国：フランス)	○ 流通チャネルの確立 ・有力卸売業者との共同プロモーション等 ○ 最終消費者の掘り起し ・広島フェアによる日本酒 PR ○ 日本酒についての周知・理解の場の確保 ・フランスの料理学校での日本酒講座の開設等 ○ 継続的なブランドの確立の取組	33,582	23,582	23,146
情報発信	○ 県民の広島県に対する愛着や自慢，誇りを向上させるとともに，県民が自ら広島県をより良くしていこうとする主体的な取組みを促進 ・ワークショップ「ひろしま編集会議」（ワーキンググループ） ・県民の意見を取り入れ，県民投稿型サイトの企画・編集案を検討 ○ Facebook 「もっと ひろしま」の運営	31,974	31,974	23,631
その他	○ ひろしまブランドに関するインターネット調査を実施	908	908	438
合 計		(債務 14,400) 83,128	73,128	58,083

成果目標

○ 中長期の目標

「地域ブランドランキング」（日経リサーチ） 全国 8 位（H32）

○ H28 年度の目標

食の魅力向上	「ひろしまといえば,おいしい」というブランドイメージ	料理コンクール開催により成績優秀者を選定(西洋料理・和食 各3名程度) 海外レストラン等での修業(西洋料理)
日本酒のブランド価値向上	海外での「日本酒＝広島」というブランドイメージ	広島県産の日本酒販売量に占める輸出の割合 2.9%
情報発信	県民のひろしまに対する愛着度・自慢度	愛着度 10 位以内（17 位(H27)）, 自慢度 10 位以内（22 位(H27)） 地域ブランド調査(ブランド総合研究所)

平成 28 年度実績

・ブランド総合研究所「都道府県魅力度ランキング」23 位

食の魅力向上	・料理コンクール 成績優秀者を選定（西洋料理・和食 計6名） ・H28 ひろしまシェフコンクール成績優秀者のうち2名を海外レストランでの修行に派遣
日本酒のブランド価値向上	広島県産の日本酒販売量に占める輸出の割合 2.9%
情報発信	愛着度 6 位 自慢度 7 位

今後の課題

【食の魅力向上】

○ 広島の食の魅力向上のため、若手料理人の継続的な人材育成を進めていくとともに、豊かな食体験ができる場づくりなどに取組む必要がある。

【日本酒のブランド価値向上】

○ フランスの酒類卸業者を通すルートが開けたことから、今後はフランスでの販売数量を増やすため、広島産日本酒のブランド確立を図りつつ、酒類卸業者のセールスプロモーションを支援する必要がある。

【情報発信】

○ 本県が継続して目標順位内に位置付けられるよう、県民の愛着度・自慢度の維持・向上につながる取組を行う必要がある

今後の取組方針

【食の魅力向上】

- 食に関わる一流料理人を発掘・育成するための料理コンクールを実施し、また、県内の食関係者とともに、県産食材などを活用した、ひろしまの食体験イベントを実施し、ひろしまの食の魅力をPRする。

【日本酒のブランド価値向上】

- 現地卸業者の顧客となる小売店やレストランを対象に試飲会を開催するなど、現地卸業者との共同プロモーションを実施する。
- 現地販売代理人やブランドツールの活用による継続的な営業活動等を行う。

【情報発信】

- 県民投稿型サイトによって共有されたひろしまの魅力が話題となり、サイト外にも口コミやマスコミによって伝わるとともに、参加者の自ら広島県をより良くしていこうとする取組みが広がることで、県民の愛着度・自慢度を維持・向上させる。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：企画費 目：企画総務費
担当課	経営企画チーム
事業名	東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致等推進事業（単県）【一部新規】

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	69 県内の文化・芸術・スポーツ資源や世界的知名度の活用等により、本県の魅力を創出・発信します。 ④ 東京オリンピック・パラリンピックを活用した本県の魅力向上・発信

目的

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を取り込むことにより、本県の魅力を向上させ、国内外に発信する。

事業説明

対象者

県民、市町、競技団体、JOC（日本オリンピック委員会）、国、他国NOC（ナショナルオリンピック委員会）・競技団体

事業内容

（単位：千円）

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額
事前合宿の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ○ リオ大会に合わせたPR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・大会会場における各国への誘致活動（平成28年8月） ・誘致PR用パンフレットの作成 ○ その他の継続中の誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・アプローチルート開拓 ・視察団受入 			
国際大会等の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際大会の事前合宿誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーW杯2019（国内12会場、平成31年9月～11月） ○ 国際大会の開催支援 <ul style="list-style-type: none"> ・アジアトライアスロン選手権（廿日市市、平成28年4月・5月） 	18,370	19,070	18,693
競技会場の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野球・ソフトボール予選会場の誘致 			
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合宿誘致・受入体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市町・競技団体向けの研修会の開催 ・運営ボランティア体制の整備 ・ボランティア活動支援（国際大会、事前合宿） 			
	合 計	18,370	19,070	18,693

成果目標

- 国際大会・国際大会事前合宿誘致数 のべ3件（平成29年度まで）
- 国際大会・国際大会事前合宿誘致数 のべ5件以上（平成32年度まで）

平成28年度実績

指標名	目標値	実績値 (平成28年度)
国際大会・国際大会事前合宿誘致数	のべ4件(平成29年度まで)	4件
	のべ5件以上(平成32年度まで)	

今後の課題

- 2020年東京オリンピック競技大会における県内での事前合宿誘致に向け、メキシコオリンピック委員会との交渉の進展により、平成29年1月にメキシコオリンピック委員会幹部の県内施設視察が実現した。今後は、基本協定の締結に向け、更なる交渉を進める必要がある。

今後の取組方針

- 2020年東京オリンピック競技大会における、メキシコオリンピックチームの県内での事前合宿誘致に向け、県内市町、経済界、競技団体等と連携し、引き続き、交渉を進める。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：河川海岸費 目：河川改費
担当課	都市圏魅力づくり推進課，河川課
事業名	都市圏魅力創造事業（一部国庫）

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	70 高い質感を持つ街並みや都心のにぎわいなど、多様な人材をひきつける魅力的な環境の整備、創出に取り組みます。 ① 多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出

目的

広島市を中心とする広島都市圏において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、広島市と連携した取組を推進する。

事業説明

対象者

広島市，県民等

事業内容

広島市都心部（紙屋町・八丁堀地区及び広島駅周辺地区）の中核拠点性の向上を目指して、広島市と連携した取組を実施

(単位：千円)

内 容	当初 予算額※	最終 予算額※	予算 執行額※
【地域政策局所管事業】 都心活性化プランの策定	5,168	5,168	3,357
楕円形都心づくりを支える歩行環境改善	3,400	3,400	2,889
都市計画制度を活用した都心部の活性化	2,050	2,050	1,819
広島駅周辺地区のまちづくりの推進	1,200	1,200	936
【土木建築局所管事業】 美しい川づくり	20,000	20,000	13,051
合 計	31,818	31,818	22,052

※ 平成27年度2月補正予算を含む。

成果目標

- 多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出
 - ・ 広島市と連携した取組件数 H28：5件以上
 - ・ 都心活性化プランの策定 H28：都心活性化プランの策定

平成28年度実績

指標名	目標値 (平成28年度)	実績値 (平成28年度)
広島市と連携した取組件数	5件以上	5件
都心活性化プランの策定	都心活性化プランの策定	都心活性化プランの策定

今後の課題

広島都心部について、特に、

- ・ 平和記念公園には世界中から多くの人が集まっているにも関わらず、紙屋町・八丁堀地区への人の流れや滞留時間が少ないこと、
- ・ 紙屋町・八丁堀地区においては、更新時期を迎える建築物が多く、その更新はあまり行われていないこと

などの課題があり、広島市を中心とする広島都市圏の中核拠点性の向上を図るため、広島市と連携して、魅力ある都市づくりに向けた取組を推進する必要がある。

今後の取組方針

今後、「ひろしま都心活性化プラン」で描く都心の目指す姿の実現に向け、広島市とともに、県民・市民、地元企業など様々な主体と連携し、土地の高度利用やにぎわいあふれる空間を創出していくため、都市計画制度による規制の見直し検討や、広島駅周辺地区等のエリアマネジメント体制構築の支援など、都心の活性化を図る取組を進めていく。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	広島西飛行場跡地活用推進事業（単県） 【一部新規】

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	70 高い質感を持つ街並みや都心のにぎわいなど、多様な人材をひきつける魅力的な環境の整備、創出に取り組みます。
①	多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出

目的

広島都市圏における高次都市機能集積強化により中枢拠点性の向上を図る。

事業説明

対象者

広島市，民間事業者

事業内容

(単位：千円)

	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額
跡地利用計画の策定【新規】	○ 民間提案募集で選定した提案を参考として，ビジョンを具体化した跡地利用計画を策定 ※県実施 ※負担割合 県：市＝1：1	5,030	5,030	5,028
民間活力の導入に必要な事務手続き【新規】	○ 土地鑑定評価 ○ 土壌汚染対策法に関する調査 ※県実施 ※負担割合 ・ 県有地～県負担 ・ 県市共有地～県：市＝1：1	5,250	5,250	2,958
関連事務費【一部新規】	○ 類似事例の調査	722	198	194
	合 計	11,002	10,478	8,180

成果目標

- 広島西飛行場跡地の有効活用
(跡地の広島市の拠点都市としての発展に寄与し，また，その効果が広域的に波及するような利活用)

平成28年度実績

- 民間提案募集で選定した対話事業者と対話を実施し，「広島西飛行場跡地利用計画」を広島市と共同で策定。

今後の課題

- 跡地については平成24年の広島西飛行場廃止後、一部を暫定利用する状況が継続しており、できるだけ早期に跡地活用を進めていく必要がある。
- 跡地活用を円滑に進めていくために、跡地の円滑な交通処理の観点から、基幹道路の整備（県道南観音観音線の拡幅整備及びクランク解消）及び南伸道路の新規整備（「新たな産業（にぎわい）」ゾーンへのアクセス道路の新設）を行う必要がある。また、海辺に面したウォーターフロントである地区特性を生かす観点から、マリンスポーツや観光振興の促進に資する陸揚げスロープの新規整備を行う必要がある。

今後の取組方針

- 「広島西飛行場跡地利用計画」に基づき、事業予定者の募集を行うほか、跡地活用に必要な交通アクセスの改善に向けた道路整備、マリンスポーツや観光振興の促進に資する陸揚げスロープの整備のための測量、設計に取り組む。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費
担当課	都市計画課
事業名	魅力ある「まちなみづくり」支援事業（単県）

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	70 高い質感を持つ街並みや都心のにぎわいなど、多様な人材をひきつける魅力的な環境の整備、創出に取り組みます。 ① 多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出

目的

本県における集客・交流の促進など地域の賑わい創出に向けて、魅力ある景観等、デザイン性のある都市空間の形成を図るため、市町が行う魅力あるまちなみづくりを支援する。

事業説明

対象者

魅力あるまちなみづくりに取り組む市町

事業内容

モデル地区に選定し、市町が行う景観等に配慮したまちなみづくりを、重点的に支援することにより、早期に魅力あるまちづくりを進めるとともに、モデル地区以外の地域への普及を促進する。

(単位：千円)

区分	内容	当初予算額	最終予算額	予算執行額
モデル地区の支援	モデル地区を選定し、市町単独では実施が困難なまちづくりの指針となるデザインコンセプトの策定などについて重点支援することで、市町による魅力あるまちなみづくりを促進する。(H26選定の宮島口地区(廿日市市)、街道東城路周辺地区(庄原市)及びH27選定の忠海地区(竹原市)の他、H28は1市町を公募により選定) ① ワークショップの運営支援 ② デザインコンペ等におけるデザイン審査会の設立・運営	10,084	5,554	4,180
他地域への普及促進	モデル地区の取組状況や他県の先進事例などを、県内の市町と共有することにより、モデル地区以外への普及を促進する。 ① 県市町勉強会を通じた情報提供 ② 県HPによる情報発信【非予算】	69	69	58
合計		10,153	5,623	4,238

成果目標

○ デザインコンセプト策定地区数

0地区(H25) → 4地区(H30)

平成28年度実績

指 標 名	基準値 (平成25年度)	目標値 (平成30年度)	実績値 (平成28年度)
デザインコンセプトの策定地区数	0地区	4地区	2地区

- 宮島口地区は、平成27年度に策定された「宮島口地区まちづくりグランドデザイン」の実現化に向けて、ワークショップを開催した。
- 街道東城路周辺地区は、平成27年度より進めてきたワークショップを終え、デザインコンセプトを策定した。
- 忠海地区は、第1回ワークショップを開催し、魅力あるまちなみづくりに向けて地元関係者と対話を重ねた。

今後の課題

- 他地域への普及促進のために開催した「講演会」に多くの地域住民や市町職員が参加されるなど、魅力あるまちなみづくりへの機運は醸成されつつあるが、具体的な取組に着手した事例は少ない。

今後の取組方針

- 他地域の普及促進については、モデル地区におけるワークショップ等の取組や、他県も含む先進事例について広く情報提供し、機運の醸成を図っていく。
- 新規モデル地区は、平成29年度に改めて選定する。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：都市計画費 目：都市計画総務費
担当課	営繕課
事業名	魅力ある建築物創造事業（単県）

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	70 高い質感を持つ街並みや都心のにぎわいなど、多様な人材をひきつける魅力的な環境の整備、創出に取り組みます。
	① 多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出

目的

本県のブランドイメージの向上を図るため、魅力ある公共建築物の創造・発信やクリエイティブな人材の育成などを積極的に推進する。

事業説明

対象者

建築関係者（建築家、学生等），一般県民

事業内容

（単位：千円）

区分	内容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額
魅力ある公共建築物の創造・発信	① 広島型建築プロポーザル方式の実施 （厳島港宮島口地区旅客ターミナル等） ② 広島型建築プロポーザル方式の市町への積極的な普及，技術支援窓口の設置 ③ 事業成果の情報発信 （トークイベント，パネル展示，完成見学会）	5,069	5,069	4,168
民間建築物への波及	① 県内の魅力ある建築物の発信イベント「ひろしまたてもものがたり」の展開 ア たてもものがたりフェスタの実施 ② クリエイティブな人材育成 ア 建築学生チャレンジコンペの実施	2,717	2,717	2,244
合計		7,786	7,786	6,412

※ 広島型建築プロポーザル方式では，最も適した設計者を選定するため，次の4つの特色を盛り込んでいる。

- 1 参加資格のオープン化
- 2 建築関係団体との協定に基づく審査員選定
- 3 技術提案を重視した審査
- 4 公開ヒアリングなど審査過程の透明化

成果目標

- 広島型建築プロポーザル方式による発注件数
 - ・ 県 100%（※1），市町 4 件以上（H28）
 - 県内の建築物が有名建築雑誌（※2）に掲載される件数
 - ・ 4 件/年間（H28）
 - 県内の公共建築物の公共建築賞（※3）受賞件数
 - ・ H26 年度から H35 年度までの 10 年間で 8 件以上
- ※1 プロポーザル対象物件数に占める発注割合
 ※2 新建築，日経アーキテクチュア
 ※3 地域への貢献が著しく，文化性が高いなどの優れた公共建築を表彰する。

平成28年度実績

指標名	目標値 (平成28年度)	実績値 (平成28年度)
広島型建築プロポーザル方式による発注件数	① 県100% ② 市町4件以上	① 県100%(4件) ② 市町4件
県内の建築物が有名建築雑誌に掲載される件数	年間4件以上	年間15件
県内の公共建築物の公共建築賞受賞件数	8件以上 (H26~H35累計)	4件 (H26~H28累計)

今後の課題

- 優れた設計者に設計を依頼し、魅力ある建築物を創造していくという意識を公共建築だけではなく、民間へも波及させることが必要である。
- 「県内の魅力ある建築物の発掘・発信」を民間の自主的な取組に移行させ、継続して自立的に実施できる体制を整えていく必要がある。

今後の取組方針

- 広島型建築プロポーザル、建築学生チャレンジコンペについては、審査委員に著名な建築家を起用することで、多くの建築関係者の関心を惹きつけることができおり、今後も継続して取り組んでいく。
- 「魅力ある建築物を創造する」という意識を民間へも広めていくため、著名な建築家が携わった事例を引き続き情報発信していく。
- 「県内の魅力ある建築物の発掘・発信」を民間の自主的な取組にしていくため、「たてものがたりフェスタ」の実施に当たり、市民団体等との連携を強化していく。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：港湾費 目：港湾管理費
担当課	港湾振興課
事業名	瀬戸内海クルージング促進事業（客船誘致受入） （一部国庫）
目的	

分野	豊かな地域づくり
領域	魅力ある地域環境
施策	70 高い質感を持つ街並みや都心のにぎわいなど、多様な人材をひきつける魅力的な環境の整備、創出に取り組みます。
	② 新たな魅力を創出するみなと環境
	73 「瀬戸内ブランド推進連合」において、国内外へのプロモーションや瀬戸内の魅力を体感する環境整備、観光関連サービス、地域産品などのプロダクトの開発誘導の充実に取り組みます。
①	観光ブランド「瀬戸内」の実現

アジアを中心にクルーズ市場が急成長する中、多くの観光客の訪問につながるクルーズ客船の誘致・受入を積極的に推進し、裾野の広い観光産業の振興を図る。

事業説明

対象者

国内外船社、海外・国内からの観光客

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額
クルーズ客船の 誘致・受入	① 船社等訪問	620	620	620
	② 客船寄港時のおもてなし実施 (広島港客船誘致・おもてなし委員会を 中心として実施)	59,668	59,668	59,668
合計		60,288	60,288	60,288

成果目標

○ 1万トン以上の客船入港回数 22回 (H25 入港実績) ⇒ 35回 (H29 入港予約回数)

平成28年度実績

指標名	基準値 (平成25年度)	目標値 (平成34年度)	実績値 (平成28年度)
1万トン以上の客船入港回数	22回 (H25 入港実績)	50回 (H35 入港予約回数)	61回 (H29 入港予約回数)

今後の課題

アジアを中心にクルーズ市場が急成長し、乗客・乗員による観光や買い物による経済効果に着目したクルーズ客船の誘致を巡る港間競争が広がる中において、着実に受入実績を積み重ね、客船寄港の定着化・増加を図る必要がある。

今後の取組方針

大型クルーズ客船用として供用している五日市埠頭において円滑な受け入れを行うことにより、世界最大級の客船に対応できる優位性を生かしたセールス活動を積極的に展開する。

さらに、寄港地としての魅力を高めるため、「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を中心に官民一体となって、おもてなしのより一層の充実に取り組み、広島らしいおもてなしや、観光・買物プランを提案するなど、他港との差別化を図る。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：観光費 目：観光費
担当課	観光課
事業名	海の道プロジェクト推進事業（単県）【一部新規】

分野	豊かな地域づくり
領域	瀬戸内
施策	73 「瀬戸内ブランド推進連合」において、国内外へのプロモーションや瀬戸内の魅力を体感する環境整備、観光関連サービス、地域産品などのプロダクトの開発誘導の充実に取り組みます。
	① 観光ブランド「瀬戸内」の実現

目的

瀬戸内エリアが一体となって「瀬戸内ブランド」を確立することで、観光関連産業の育成や地域再生のイノベーションを起こすと同時に、国内外から人々を呼び込み、「瀬戸内 海の道構想」の実現を図る。

事業説明

対象者

瀬戸内地域の住民及び国内外の人々

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	当初予算額	最終予算額	予算執行額
瀬戸内ブランドの形成	<ul style="list-style-type: none"> ○ (一社)せとうち観光推進機構(DMO)の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・全体戦略・実施計画のモニタリング(PDCAサイクルの導入等) ・全体プロモーション ・テーマ別(クルーズ,サイクリング,地域産品など)部会の運営等 ○ 広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」の形成促進 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の動向調査 ・受入環境の整備等 ・インバウンド着地型商品など滞在コンテンツの充実 ・旅行社招聘,旅行博出展等のプロモーションなど海外向け情報発信等 	26,800	26,800	26,800
観光資産の魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の継続開催に向けた中規模大会の開催【新規】 ○ 瀬戸内の食の情報発信,県内アートの活性化に向けた検討会開催 	74,506	74,506	71,675
合 計		101,306	101,306	98,475

成果目標

- 中長期の目標 : 首都圏・関西圏における瀬戸内への強い来訪意向を持つ人の割合 H32 : 50%
瀬戸内7県の外国人延宿泊者数 H32 : 360 万人泊
- H28年度の目標 : 首都圏・関西圏における瀬戸内への強い来訪意向を持つ人の割合 : 29%
瀬戸内7県の外国人延宿泊者数 : 171 万人泊

平成28年度実績

指標名	目標値 (平成28年度)	実績値 (平成28年度)
首都圏・関西圏における瀬戸内への強い来訪意向を持つ人の割合	29%	27.3%
瀬戸内7県の外国人延宿泊者数	171 万人泊	291 万人泊

今後の課題

- 瀬戸内への来訪意向度を高め、国内外の多くの人から選ばれる地域として認知されるためには、瀬戸内の魅力を活かした観光関連サービスの充実や地域産品等プロダクト開発の促進、効果的なプロモーションを実施していく必要がある。

今後の取組方針

- せとうちDMOをはじめ、関係県や地域DMOと目標や課題を共有し、瀬戸内ブランドの確立に向けた、観光プロダクト開発、外国人観光客の受入体制の充実、拠点地区から他地域への効果の波及に取り組み、地域産業の活性化と交流人口の拡大につなげる。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	中山間地域人材ネットワーク事業（単県）【新規】

分野	豊かな地域づくり
領域	中山間地域
施策	76 自主的・主体的な地域づくりを支える多様な人材の育成・ネットワークづくりに取り組みます。 ① 地域における「つながり力」の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり

目的

現在、取り組んでいる機運醸成や人材育成の取組と連動して、蓄積された多様な人材の交流とネットワークづくりを加速するための起爆剤となる県民参加型プロジェクトを展開し、実践活動の更なる活発化を図る。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

(単位：千円)

	内 容	当初 予算額※	最終 予算額※	予算 執行額※
ひろしま さとや ま未来博2017 (平成29年度)の 展開に向けた企 画・支援等	① ココロザシ応援プロジェクト 地域づくりへの若い世代のチャレンジ を応援 ◆主な内容（平成28年度） ・地域づくりチャレンジ支援(1/2補助, 上限500千円) ・実践アドバイザー派遣	161,500	161,500	161,500
	② シンボルプロジェクト 多様な地域づくりの取組の認知促進と 中山間地域への集客促進を図るためのプ ロジェクト等を展開 ◆主な内容（平成28年度） ・シンボルプロジェクトの企画 ・プロモーション活動の展開			
ひろしま里山ソー シャル・カフェの 開催	中山間地域に対する共感と価値観を共有 ◆開催回数 全6回	10,000	10,000	9,936
ひろしま里山・チ ーム500の運営	地域づくり活動をリードする人材の交流 促進や活動の継続・拡大を支援するた めの人材プラットフォームの立ち上げ ◆主な内容 ・専用ポータルサイトの運営 ・交流機会の創出	6,440	6,440	6,416
	合 計	177,940	177,940	177,852

※ 平成27年度2月補正予算を含む。

成果目標

- プロジェクト参画者数 6,000人 (H29)
- プロジェクト来場者数 60万人増加 (H29)
- 里山ソーシャル・カフェ参加者数 350人 (H28)
- 地域づくり活動をリードする人材の育成 70人 (H28)

平成28年度実績

指 標 名	目標値 (平成28年度)	実績値 (平成28年度)
里山ソーシャル・カフェ参加者数	350人	668人
地域づくり活動をリードする人材の育成	70人	70人

今後の課題

- 「ひろしま さとやま未来博2017」を契機とした取組を一過性に終わらせず、終了後も、参画者が意欲を持って、自主的・主体的に活動を継続することが重要である。
- 地域づくり活動をリードする人材の更なる拡大と交流を図る必要がある。

今後の取組方針

- 中山間地域で地域づくりに取り組む人や活動をつなぐプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」を基盤としつつ、実践活動における様々な機会を捉えた交流機会の充実や、地域の担い手となる人材の養成講座の開催など、地域づくり活動を側面的に支援する。
- 「ひろしま里山・チーム500」への登録者の拡大を図るため、登録のメリット等を明示するとともに、実践者同士が実際に会おう交流会を設け、ノウハウの共有や課題の解決につなげる。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト（国庫）

分野	豊かな地域づくり
領域	中山間地域
施策	76 自主的・主体的な地域づくりを支える多様な人材の育成・ネットワークづくりに取り組みます。
①	地域における「つながり力」の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり

目的

地域貢献に意欲のある首都圏の若者と広島県の中山間地域において実践活動に取り組む人材のマッチングや具体的な課題解決を通じたつながりを創ることによって、中山間地域内外における担い手の確保と実践活動参加者の拡大を図る。

事業説明

対象者

首都圏の若者，中山間地域を有する市町

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初 予算額※	最終 予算額※	予算 執行額※
<p>①事業説明会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトに参加する地域貢献に意欲のある人材を確保するため、首都圏において説明会等を開催 ・地域実践者と首都圏の若者をつなぐ双方向交流や、マルシェ等を通じた里山イメージの発信 <p>[開催回数] 事業説明会等 8回 マルシェ 2回</p>	26,431	26,431	25,988
<p>首都圏におけるソーシャル人材の確保</p> <p>②首都圏でのセミナーの実施(現地実習前)</p> <p>受講生を対象に、メンターによる実践事例の紹介や現地実習プラン作成のセミナーを開催</p> <p>[開催回数] 3回</p>			
<p>③現地実習</p> <p>[受入市町] 6市町 [受入時期] 10月～11月(3日間) [主な内容] 課題現場訪問，地域実践者等との意見交換，体験活動への参加・実習，振り返りワークショップ</p> <p>〔～ソーシャル人材とは～ 社会的な課題や地域課題の解決を目的として実践活動に取り組む人材〕</p>			
<p>④首都圏でのセミナーの実施(現地実習後)</p> <p>受講生が作成する課題解決のための実践プラン支援及びプレゼンの実施</p> <p>[開催回数] 実践プラン作成支援 6回 実践プランのプレゼン 1回</p>			
合 計	26,431	26,431	25,988

※平成27年度2月補正予算を含む。

成果目標

- ソーシャル人材の確保 40人（H28）
- 課題解決プランの件数 10件（H28）

平成28年度実績

指標名	目標値 (平成28年度)	実績値 (平成28年度)
ソーシャル人材の確保	40人	50人
課題解決プランの件数	10件	10件

今後の課題

- 中山間地域内外における担い手の確保に向けて、これまで受け入れた各市町において、受講生との交流を継続していく必要がある。
- オープンセミナー、マルシェなど広島の魅力をもPRする一般向けのセミナー等から、実際に受講に結びつくケースが少ない。

今後の取組方針

- これまで受け入れた受講生や市町関係者、地域実践者等との交流会を実施するなど、地域とのつながりが継続するよう取り組む。
- 受講生の募集について、広島の魅力をもPRする一般向けのセミナー、マルシェに代えて、関心層に特化した事業説明会を強化する。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：農業費 目：中山間地域対策費
担当課	農業基盤課
事業名	中山間地域等直接支払事業（一部国庫）

分野	豊かな地域づくり
領域	中山間地域
施策	77 多様な人たちが、地域の資源や基盤を生かして、新たな事業にチャレンジできる環境整備に取り組みます。
	① 持続的な農業生産活動の実現

目的

中山間地域における適正な農業生産活動の維持を通じ、農地の公益的機能の維持発揮を図るため、中山間地域の持つ農業生産条件の不利性を直接補正する。

事業説明

対象者

市町

事業内容

(単位：千円)

区分	内 容	補助率	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額
交付金事業	<p>○ 農業の生産条件に関する不利性を直接補正するための支援</p> <p>※対象農用地に係る交付金を集落代表者等に交付するために市町が要する経費を補助</p> <p>【対象となる地域】 地域振興5法の指定地域及び県が指定する地域</p> <p>【対象となる農用地】 傾斜等一定の基準を満たす農振農用地区域内の一団の農用地</p> <p>【交付単価】 (10a 当たり)</p> <p>[田] 急傾斜 1/20 以上 : 21,000 円 緩傾斜 1/100 以上 : 8,000 円</p> <p>[畑] 急傾斜 15 度以上 : 11,500 円 緩傾斜 8 度以上 : 3,500 円</p> <p>[草地] 急傾斜 15 度以上 : 10,500 円 緩傾斜 8 度以上 : 3,000 円</p> <p>[採草放牧地]</p> <p>急傾斜 15 度以上 : 1,000 円 緩傾斜 8 度以上 : 300 円</p> <p>【加算措置】 (10 a 当たり)</p> <p>・集落連携・機能維持加算 [集落協定の広域化支援] 地目にかかわらず : 3,000 円</p> <p>[小規模・高齢化集落支援] 田 : 4,500 円, 畑 : 1,800 円</p> <p>・超急傾斜農地保全管理加算 [田・畑] 6,000 円</p>	<p>国 1/2 県 1/4 市町 1/4</p> <p>(特認) 国 1/3 県 1/3 市町 1/3</p>	2,166,610	2,043,209	2,042,549

成果目標

公益的機能が維持される面積 : 24,000ha (～H32年度)

H28年度取組面積 : 21,300ha

平成28年度実績

指標名	基準値 (平成22年度)	目標値 (平成32年度)	実績値 (平成28年度)
中山間地域等直接支払制度の取組面積	20,367ha	24,000ha	20,855ha

今後の課題

- 関係市町と連携しながら地域への働きかけを強化したが、高齢化に伴い地域をまとめるリーダーや事務の担い手が不足し、取組を行う体制が整わなかった。また、条件とされている耕作を5年間続けることへの不安などから、新たな取組の拡大には至っていない。
- 人材不足により体制が整わない地域であっても、事業実施が可能となるよう広域活動組織の設立を進めたが、市町職員および集落協定役員などの意識醸成に留まり、広域活動組織の設立には至っていない。

今後の取組方針

- 引き続き、広域活動組織の設立に向けて、関係市町及び集落協定役員に対する研修会など普及啓発に向けた取組を強化する。また、耕作を5年間続けることができなかった場合の返還要件が緩和されたことを周知し、取組面積の拡大を図る。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：農地費 目：農地総務費
担当課	農業基盤課
事業名	農業・農村多面的機能支払事業（一部国庫）

分野	豊かな地域づくり
領域	中山間地域
施策	77 多様な人たちが、地域の資源や基盤を生かして、新たな事業にチャレンジできる環境整備に取り組みます。
	① 持続的な農業生産活動の実現

目的

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や、道水路や農村環境の適切な保全活動を支援することにより、持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持・発揮を図る。

事業説明

対象者

広島県農地・水・農村環境保全協議会，市町，県

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	補助率	実施主体	当初予算額	最終予算額	予算執行額
農地維持 支払	○ 多面的機能を支える共同活動を行う集落等に支援 ※農地法面の草刈，水路の泥上げ，体制の拡充・強化などに要する経費 【交付単価】 田：3,000円/10a 畑：2,000円/10a 草地：250円/10a			499,681	432,606	431,529
資源向上 支払	○ 地域資源の質的向上を図る共同活動に支援 ※水路，農道，ため池の軽微な補修，植栽による景観形成など 【交付単価】 田：2,400円/10a 畑：1,440円/10a 草地：240円/10a 協定期間5年間経過後は，75%単価	国 1/2 県 1/4 市町 1/4	市町	276,707	229,482	229,031
	○ 農業用施設の長寿命化を図るための活動に支援 ※老朽化部分の補修や機能維持のための更新など 【交付単価】 田：4,400円/10a 畑：2,000円/10a 草地：400円/10a			177,423	205,217	205,086
合 計				953,811	867,305	865,646

成果目標

公益的機能が維持される面積：43,600ha（～H32年度）

H28年度取組面積：20,800ha

平成28年度実績

指 標 名	基準値 (平成25年度)	目標値 (平成32年度)	実績値 (平成28年度)
多面的機能支払制度 の取組面積	9,104ha	43,600ha	18,631ha

今後の課題

- 関係市町と連携しながら地域への働きかけを強化したが、高齢化に伴い地域をまとめるリーダーや事務の担い手が不足し、取組を行う体制が整わなかったことから、取組の拡大には至っていない。
- 人材不足により体制が整わない地域であっても、事業実施が可能となるよう広域活動組織の設立を進めたが、市町職員および活動組織役員などの意識醸成に留まり、広域活動組織の設立には至っていない。

今後の取組方針

- 引き続き、広域活動組織の設立に向けて、関係市町および集落協定役員に対する研修会など普及啓発に向けた取組を強化することにより、取組面積の拡大を図る。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費
担当課	森林保全課・林業課
事業名	ひろしまの森づくり事業（単県）

分野	豊かな地域づくり
領域	中山間地域
施策	78 安心を支える生活環境づくりについて、市町等と連携して取り組みます。
	⑤ 森林の公益的機能の維持

目的

県民全体が享受している県土の保全や水源かん養などの公益的機能を持続的に発揮させるため、県民共有の財産である森林を県民全体で守り育てる事業を推進する。

事業説明

対象者

市町、森林所有者、住民団体、森林ボランティア団体、民間事業者等

事業内容

区分2～4については、【ひろしまの森づくり基金充当】 (単位：千円)

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額
1 基金 積立	○ 「ひろしまの森づくり基金」への積立	831,032	854,217	854,216
2 人工 林対策等	○ 人工林対策（間伐、県産材利用促進など）、森林病虫害被害対策 ・放置された人工林のうち、緊急的対応を必要とする森林の間伐・作業道整備等 ・住宅分野での県産材の利用拡大の推進 ・公共建築物等の木材利用の推進 ・松くい虫やナラ枯れなどの森林病虫害に対し、防除対策を実施	459,500	445,395	437,459
3 里山 林対策等	○ 里山林対策等 市町の主体性により、次のメニューについて県からの配分の範囲内で実施 ・里山林や都市近郊林等のうち、土砂災害防止、生物多様性の保全、鳥獣害防止等を目的とした森林の整備 ・森林の機能や林業について学ぶ森林・林業体験活動 ・県産材を利用した木製品の公共施設への設置等	270,000	270,000	270,000
	○ 特認事業 市町が特に提案して事業実施する場合の特別枠 ・住民団体等による自主的・継続的な森林保全活動の実施 ・市町域を超えた広域的な森林・林業体験活動等	90,000	90,000	90,000
4 県民 意識 の 醸成	○ 意識啓発 県民に対する森林・林業の意識啓発・情報提供 ・広報課と連携した各種メディアを通じた広報 ・県民活動の活性化等による意識啓発など	18,314	18,314	17,663
合 計		1,668,846	1,677,926	1,669,338

成果目標

手入れ不足の人工林の間伐面積（累計）	： H23 1,150ha → H28 6,168ha
地域資源保全活用事業の実施箇所数(累計)	： H24 5箇所 → H28 27箇所
森林ボランティア活動の延べ人数	： H23 58,580人/年 → H28 72,000人/年
県産材（スギ・ヒノキ）素材生産量	： H25 217千m ³ → H28 319千m ³
木材安定供給協定による取引量	： H25 59千m ³ →H28 100千m ³

平成28年度実績

指標名	基準値 (平成22年度)	目標値 (平成28年度)	実績値 (平成28年度)
手入れ不足の人工林の間伐面積（累計）	990ha/年	6,168ha (H23～28年度の累計)	6,475ha (H23～28年度の累計)
地域資源保全活用事業の実施箇所（累計）	—	27箇所 (H24～28年度の累計)	27箇所 (H24～28年度の累計)
森林ボランティア活動の延べ人数	57,000人/年	72,000人/年	72,145人/年
県産材（スギ・ヒノキ）生産量	148千m ³	319千m ³	320千m ³
木材安定供給協定による取引量	—	100千m ³	101千m ³

今後の課題

- これまで、洪水緩和や水源涵養などの公益的機能の増加を目的とし、森林機能の維持発揮に向けた取組が図られたものの、依然として4万2千ヘクタールの手入れ不足となっている人工林が存在している。また、里山林においては、地区全体での計画的な整備や適切な整備区域の設定などによる効果の拡大が必要となっている。
- 森林資源の循環利用による健全な森づくりを推進するため、住宅分野における県産材利用について、引き続き段階的な拡大を図っていく必要がある。
- 森林ボランティアなどによる県民参加の森づくりが増加する一方で、活動を継続・発展させるための安全管理や財務基盤の確立など、各団体が活動を継続・発展する上での課題が生じている。
- 県民の森林に対する重要性の認知は進んでいるものの、森づくりの事業成果や活動実績を求める声が多く出るなど、当該事業に関する広報内容にミスマッチが生じており、認知度が向上していない。

今後の取組方針

- 手入れ不足の人工林については、県民生活への影響が大きくなる森林を優先し、公益的機能が持続的に発揮されるよう間伐を推進する。また、里山林については、地域の実情に応じて課題解決を図るための活動や、新たな資源利用などを目的として里山を活用する取組を推進する。
- 住宅分野での県産材利用を拡大するため、県内住宅メーカーが県内外で県産材を利用して木造住宅を建築する取組を支援する。
- 大規模な集約型林業によらない小規模林業経営や自主的に活動する森林保全活動など、森林を活用しながら森林整備を行う者を新たに育成し、森林保全活動を推進する。
- 取組内容の周知による目的税の用途の明確化や施策効果等を県民に伝えるなど、森づくり事業の県民理解の促進に向けた取組を進める。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	平和推進プロジェクト・チーム
事業名	国際平和拠点ひろしま構想推進事業（一部国庫） 【一部新規】

分野	豊かな地域づくり
領域	平和貢献
施策	79 核兵器廃絶のメッセージを継続的に発信するとともに、核軍縮・不拡散プロセスの進展への取組を促進します。
	① 核兵器廃絶に向けたプロセスの進展
	80 復興・平和構築のための人材育成と研究集積を促進します。
	① 平和構築のための人材育成と研究集積
81 持続可能な平和支援メカニズムを整備します。	
① 持続可能な平和支援メカニズムの構築	

目的

世界中のリーダーや研究者、NGOなど、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結びつけ、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。

事業説明

対象者

各国政府、県民、大学、NGO、財団、国連等の国際機関等

事業内容

(単位：千円)

区 分	内 容	当初 予算額※1	最終 予算額※1	予算 執行額※1
核兵器廃絶	ひろしまラウンドテーブル開催事業	22,774	20,774	19,872
	北東アジアの核軍縮に焦点を当てた円卓会議の広島開催			
復興・平和構築	ひろしまレポート作成事業	8,089	7,909	7,301
	平和構築人材育成強化事業			
	広島復興プロセス研究を基にした教材の活用促進、成果の発信、補完研究			
持続可能な平和支援メカニズム構築	ひろしま研究・教育機関連携強化事業(※2)	62,060	61,060	57,884
	国際平和拠点構想推進委員会の開催等			
	平和に関する人材、知識・情報、資金などを集積して、継続的な平和活動を可能とする仕組みの構築に向け、事業推進主体としてのセンター機能の在り方の検討【新規】			
	平和支援メカニズムの構築に向けた調査等			
	国際会議開催・誘致事業			
合 計		92,923	89,743	85,057

※1 平成27年度2月補正予算を含む。

※2 県・広島市連携事業

成果目標

- 国際社会における核軍縮・不拡散のプロセスの進展
- 復興・平和構築のための人材育成
- 持続可能な平和支援メカニズムの構築

平成28年度実績

ひろしまラウンドテーブル開催事業	核兵器のない世界の実現に向けて、核抑止への依存を減らす方策等について意見交換し、「議長サマリー」を取りまとめ
ひろしまレポート作成事業	「ひろしまレポート」を取りまとめ、平成29年4月に公表
平和構築人材育成強化事業	「平和人材の育成」についてのミニフォーラムを開催
ひろしま復興・平和構築研究事業	「ひろしま平和研究・教育機関ネットワーク」を通じた情報交換等を実施
ひろしま研究・教育機関連携強化事業	広島復興プロセスについての補完研究（戦災（原爆）孤児・行政の復興）の実施
拠点構想推進事業	事業推進主体としてのセンター機能の整備について調査・検討を行い、方向性を整理
国際会議開催・誘致事業	「2016 国際平和のための世界経済人会議」を開催

今後の課題

- 核兵器の非人道性について深く認識していただくため、各国の政治指導者等の被爆地訪問に、引き続き積極的に取り組む必要がある。
- 平和に関する人材、知識、情報などを集積するための仕組みを構築する必要がある。
- 平和のメッセージの発信力を強化する必要がある。

今後の取組方針

- 各国の政治指導者や世界的な影響力を有するローマ法王の被爆地訪問に向けた取組を実施する。
- 平和に関する国際的な研究機関との連携を深めるとともに、広島での研究者のネットワークを強化し、研究機能の強化を図る。
- 「2016 国際平和のための世界経済人会議」における提言や共同コミュニケの具体化を図るためのミニフォーラムを開催するとともに、国際平和貢献人材育成の充実を図るため、オンラインを活用した学習プログラムについて調査・検討を進める。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	国際課
事業名	ひろしまジュニア国際フォーラム開催事業（国庫） 【新規】

分野	豊かな地域づくり
領域	平和貢献
施策	79 核兵器廃絶のメッセージを継続的に発信するとともに、核軍縮・不拡散プロセスの進展への取組を促進します。
	① 核兵器廃絶に向けたプロセスの進展

目的

海外から中高校生を招聘して、県内の中高校生と国際平和についての討議や交流等を行い、平和のメッセージを世界に発信するとともに、国際的な相互理解を深め、次代の人材育成と国際平和拠点性向上に資する。

事業説明

対象者

県内中高校生、留学生及び一般県民、海外中高校生等

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初 予算額※	最終 予算額※	予算 執行額※
○ ひろしまジュニア国際フォーラムの開催			
1 開催時期 平成28年8月21日（日）～24日（水）			
2 実施場所 広島国際会議場ほか			
3 テーマ 平和な世界の実現に向け私たちができること (核兵器廃絶と復興・平和構築に向けた取組)			
4 プログラム			
8月21日	19,000	19,000	18,676
オリエンテーション、平和記念資料館見学 慰霊碑参拝、被爆体験講話聴講、 グループディスカッション、チームビルディング			
8月22日			
開会式・基調講演〔一般公開〕 グループディスカッション、 ピースアーチレクイエムコンサート鑑賞、 歓迎交流会			
8月23日			
グループディスカッション 報告会・広島宣言発表〔一般公開〕			
8月24日			
県内高等学校訪問（五日市高等学校；書道体験、 英語授業）お好み焼き体験、宮島訪問			
合 計	19,000	19,000	18,676

※ 平成27年度2月補正予算を含む。

成果目標

○ 広島の国際平和拠点性の向上

平成28年度実績

○ 参加者 中高生・留学生 計 83 名

- ・ 海外中高生：16 名
- ・ 県内中高生：47 名（うちグローバル未来塾 in ひろしま参加者 7 名）
- ・ 県内留学生：18 名
- ・ 三重県中高生：2 名

(海外中高生の招へい国・地域)

・ 友好提携先からの招へい	中国・四川省, アメリカ・ハワイ州, メキシコ・グアナフアト州
・ 海外県人会からの招へい	ブラジル
・ 広島県内に留学生が多い国（地域）からの招へい	ベトナム, 韓国, インドネシア, タイ, バングラデシュ, マレーシア, 台湾, カンボジア, フィリピン, モンゴル, アフガニスタン, ラオス

○ 基調講演等来場者 約 1,000 名

今後の課題

○ 平和のメッセージの発信力の強化と参加者の国際的な相互理解の促進に向け、外国人高校生の参加国・地域数の増加などに取り組む必要がある。

今後の取組方針

- 外国人高校生の参加国・地域数の増加を図り、平和のメッセージの発信力を高める。
- ひろしまジュニア国際フォーラム大使（参加中高生を任命）を通じた情報発信の充実を図る。
- 地域交流イベントを通じた、国際的な相互理解を進める。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	平和推進プロジェクト・チーム
事業名	主要国首脳会議（サミット）外相会合開催支援事業（単県）

分野	豊かな地域づくり
領域	平和貢献
施策	81 持続可能な平和支援メカニズムを整備します。 ① 持続可能な平和支援メカニズムの構築

目的

2016年主要国首脳会議（サミット）の外相会合を成功に導くため、県、広島市、商工会議所等で構成する支援組織を中心に、誘致活動を通じて培った財産を活かして会議支援の取組を進めるとともに、外相会合の広島市開催を契機に、世界の政治指導者が被爆の実相に触れることを通じて、核兵器のない平和で安定した国際社会の実現を進める。

事業説明

対象者

主要国外相等（広島市、外務省）

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	当初予算額	最終予算額	予算執行額
主要国首脳会議（サミット）外相会合の支援	○ 2016年G7広島外相会合支援推進協議会への負担金支出 ・平和に関する展示や上映 ・広島の魅力紹介・発信等 (開催日：平成28年4月10日、11日)	7,500	11,600	11,224
合計		7,500	11,600	11,224

成果目標

○ 各国の政府関係者等の広島訪問を通じた、核兵器のない平和で安定した国際社会への貢献

平成28年度実績

県、広島市、広島商工会議所等で構成する「2016年G7広島外相会合支援推進協議会」を中心に、会議支援の取組を実施した。

項目	内容
(1) 平和に関する展示や上映	広島の復興・平和の取組を伝えるパネル展示、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展示
(2) 広島の魅力紹介・発信	歓迎ランチレセプション、歓迎ライトアップ、情報発信センターの設置 等
(3) 会議支援	インフォメーションカウンターの設置 等

今後の課題

- 核兵器の非人道性について深く認識していただくため、各国の政治指導者等の被爆地訪問に、引き続き積極的に取り組む必要がある。
- 平和のメッセージの発信力を強化し、広島国際平和の拠点性向上を図るため、国際会議等の誘致を進める必要がある。

今後の取組方針

- 各国の政治指導者や世界的な影響力を有するローマ法王の被爆地訪問に向けた取組を実施する。
- 平和に関する拠点性の向上に向け、高い発信力が期待できる国際会議等の誘致を図る。

平成28年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：企画費 目：企画総務費
担当課	文化芸術課
事業名	「ひろしま平和発信コンサート」推進事業（単県）

分野	豊かな地域づくり
領域	平和貢献
施策	81 持続可能な平和支援メカニズムを整備します。 ① 持続可能な平和支援メカニズムの構築

目的

世界共通の言語である音楽を通じて、広島から平和のメッセージを国内外に強く発信するためのコンサートを開催するとともに、平和貢献活動を持続的に支援できる仕組みを構築する。

事業説明

対象者

県民を含む国内外の人々

事業内容

ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会を設置し、「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト」の一環として「ひろしま平和発信コンサート」を開催する。

(単位：千円)

区 分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額
ひろしま平和発信コンサート開催	ひろしま平和発信コンサートの実施主体である「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会」に対し、負担金を支出する。	56,000	34,000	34,000
実行委員会主催 クラシックコンサート	広島交響楽団とポーランドの管弦楽団やショパンコンクールで輝かしい成績を残した日本人ピアニストなどが共演するコンサートを開催 ○ 時期：H28.7 ○ 会場：広島文化学園 HBG ホール			
レクイエムコンサート	広島県出身のピアニストのコンサートを開催 ○ 時期：H28.8 ○ 会場：広島平和記念公園内			
地元アーティストコンサート	広島を拠点に活動するアーティストや一般公募のアーティストによるコンサートを開催 ○ 時期：H28.8 ○ 会場：広島県民文化センター			
関連コンサート	趣旨に賛同して開催される地元音楽団体等主催のコンサートを支援 ○ 時期：H28.6～8			

成果目標

- ・コンサート来場者数 3,700人
- ・寄付金額 10,000千円

平成28年度実績

指標名	目標値	実績値
コンサート来場者数	3,700人	3,604人
寄付金額	10,000千円	14,433千円

今後の課題

- 現行の、行政主体の実行委員会方式では、数年に一度の開催となること、単年度予算やノウハウ等の点で国内外のアーティストへの出演交渉などに困難が伴うこと、協賛金や補助金等を主な収入とするため財源が不安定なことなどの課題があることから、音楽活動に専門性を有する民間団体を実施主体とした体制へ移行することが必要である。

今後の取組方針

- 将来にわたって音楽を通じた平和のメッセージの発信を継続的に拡大していくためには、音楽活動に専門性を有する民間団体を実施主体とし、県・市・経済団体等が企画内容や発信方法に関する協議や広報宣伝等で連携する体制へ移行することが必要であり、平成30年度から新たなスタートが切れるよう、新体制の構成メンバーや具体的な仕組み、コンサート内容等を固め、開催準備の調整を行う。